

# 簾の上園だより

令和5年  
1月発行



## 簾の上園 実践理念

『私が 私でいられる 空間づくり』

### 実践方針

私らしい 暮らしづくり

我が家と思える 居場所づくり

最期まで寄り添いあえる 安心づくり

互いが支えあえる 関係づくり

地域、家族とつながりあえる 施設づくり

## 園長あいさつ



新年あけましておめでとうございます。令和5年「癸卯」（きぼう みずのとう）の年。「癸」は「茂る。春の訪れを感じる」、また「卯」は「冬の門が開き、飛び出る」という意味があると言われています。前年度の課題を総括し、原点に戻り物事の根本や原則をしっかりと認識、実践し、着実な発展に向かう努力を続けることが大事な年であると年頭にあたり思いを強くしたところです。

さて、国内でコロナ感染症が発生してから、1月15日で丸3年。昨年12月には、施設内で陽性者が発生し、入所者・ご家族の皆様には大変なご心配をおかけしました。変異を繰り返すウィルスにより幾度とない波が押し寄せておりますが、治療薬の開発・ワクチン接種などにより重症化率が下がり、ウィズコロナと社会経済活動の活発化により、通常の世の中に戻りつつあります。しかしながら、やはり高齢者施設は、ハイリスクであることには変わりませんので、施設ではまだまだ感染対策を緩めることなく継続していく必要があります。出勤時に毎日抗原検査をする等「持ち込まない対策」、素早い初期対応等「広げない対策」など、入所者様の安心・安全な生活を支援するため職員一丸となって頑張っています。

今年こそ、コロナが終息し皆の希望の叶う良き年になりますように願ってやみません。今後とも、ご理解とご協力の程賜りますようによろしくお願ひします。

特別養護老人ホーム 簾の上園 園長 金山 久美恵

## 大東高校地域理解探求ゲストトーク

11月には大東高校の地域理解探求の学習で、雲南市内でお仕事をされている様々な職業の方と一緒にゲストトーク講師として簸の上園の職員も参加をさせていただきました。簸の上園からは「介護の魅力～社会人3年目の私」というタイトルで、将来の進路を考える高校生に介護の魅力が少しでも伝わるように、伝え方を工夫しながら発表をさせていただきました。終了後には高校生からのメッセージで「介護の仕事に興味を持ちました」というような嬉しいお言葉をいただきました。



## そば会食



食欲の秋、今年も海潮のきたそば様のお蕎麦をいただきました。毎年の事ながら、香り高い蕎麦、旨味のある甘辛い出汁も絶品！！

割り子と釜揚げと「どっちも食べるよ」「蕎麦は大好きだけん」と普段は箸の進みにくいご利用者様も、おかわりをされ、皆さんお腹一杯召し上がられました。あちこちで「美味しかったわ～」「ありがとうねえ！」と笑顔がはじけていました。

手打ちしていただいた心のこもった蕎麦は、ご利用者様の笑顔につながりました。ごちそうさまでした。

## とんどさん

毎年恒例行事のとんどさんを開催しました。当日は例年になく、温かい日差しを感じる中、卯年の利用者様2名に点火のご協力をいただきました。竹がパチパチと音を立てて燃える様子を眺めながら、手を合わせて無病息災をお祈りされました。とんどさんを見終わった後には、焼いたリンゴやサツマイモを皆さん喜んでお召し上がりになられました。



## 各里行事



### 【蛍の里】

パンバイキングの行事を開催しました。利用者様がそれぞれ好みのパンを選び、召し上がられました。皆様『これ食べたい』、『たまにはいいね』、『また食べたいわ』等とても喜んでおられました。

### 【和歌の里】

新年を迎えられ、お屠蘇と書初めを皆さんで楽しみました。書初めでは皆さん思い思いの文字を集中して書かれました。書初めの日の昼食に食べられたぜんざいを思い浮かべられ「おもち」と良い笑顔で書かれた利用者さんもおられました。今年もよい一年になりますように！！



### 【神楽の里】

年始には奥田神社に初詣に出かけ、書初めもされました。初詣では「1年皆が元気に過ごせますように」と手を合わせていらっしゃいました。

書初めでは久しぶりの筆でしたが、スラスラと書いておられました。さすがです！書き終わると笑顔で見せて下さいました。

## ボランティア



海潮中学校の2名の生徒さんがボランティアに来園し介護に使う布切りをしてくださいました。お2人とも小学校4年生の頃に簸の上園との交流授業で来園してくださっています。ご利用者様と一緒に楽しんだ運動会やクリスマス会、車椅子体験などを思い出し「懐かしいね」とお話ししながら沢山の布を切ってくださいました。ありがとうございました。

大東町内の田中下自治会女性部様、出雲西地区郵便局長婦人会様から沢山の切り布の寄贈をいただきました。丁寧に使いやすい大きさに切って下さっていて、使用する私たちが使いやすいようにとの心遣いに心が温かくなりました。田中下自治会女性部の皆様、本当にありがとうございました。大切にに使わせていただきます。



## なんでも相談窓口



簸の上園は雲南市社会福祉法人連絡会の一員として、「くらしの安心を支える、身近で何でも相談窓口ネットワーク事業」の活動に参加をさせていただいております。「つながるチカラで、アウトリーチ！」を合言葉に、各専門分野の社会福祉法人がキャッチした問題は、抱え込まずにネットワークで受け止めるように連携をしております。何かお困りごとがございましたら、なんでも相談窓口までご相談ください。

担当窓口：生活支援課長 原 直子

### 【お願い】

毎日の支援に20センチ四方程度の綿素材の切布を使用しています。ご家庭で使用の終わったタオル・シーツ・シャツなどを切ったものがあればご持参ください。どうか、ご協力をお願いします。

社会福祉法人 島根県社会福祉事業団  
特別養護老人ホーム 簸の上園  
〒699-1253 雲南市大東町中湯石 88

TEL 0854-43-3125

FAX 0854-43-9107

HP

<https://www.ssw.or.jp/facilities/seniors/hinokamien>



●こちらのQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと、簸の上園のホームページをご覧いただくことができます